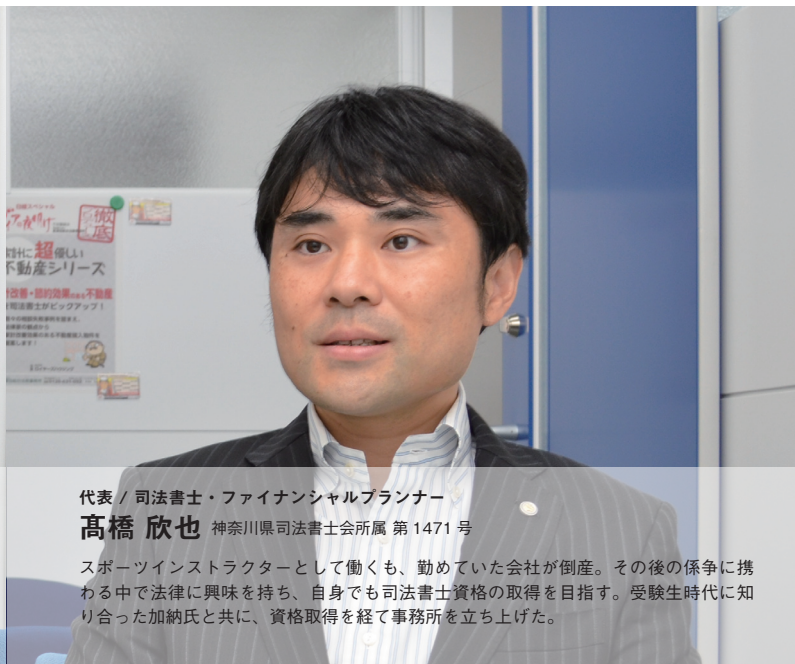


代表 / 司法書士・行政書士

加納 大志 神奈川県司法書士会所属 第 1439 号・神奈川県行政書士会所属 第 3629 号

学校卒業後に勤めた会社で残業代未払い問題に直面したことをきっかけに法律の道を志し、司法書士の勉強を始める。試験合格後、受験仲間であった高橋氏と共に長津田総合法務事務所を設立した。



代表 / 司法書士・ファイナンシャルプランナー

高橋 欣也 神奈川県司法書士会所属 第 1471 号

スポーツインストラクターとして働くも、勤めていた会社が倒産。その後の係争に携わる中で法律に興味を持ち、自身でも司法書士資格の取得を目指す。受験生時代に知り合った加納氏と共に、資格取得を経て事務所を立ち上げた。

法律家ならではの目線を武器に 不動産、保険までを手がける司法書士

司法書士事務所でありながら、グループ会社として不動産会社や保険代理店までを手がけている、長津田総合法務事務所。それらは全て、相談者に対してより良い提案、サービスを提供したいという強い理念の結晶である。同所の加納・高橋両代表に、時東あみさんがお話を伺った。

Guest Comment>>

時東 あみ (タレント)

高橋代表は「この仕事はハッピー産業ではない」とおっしゃっていました。しかし苦しい立場に立たされている人にとって、司法書士事務所は最後にすぎる場所と言っても過言ではありません。そんな時、法律的知識と経験に裏打ちされた確かなアドバイスを頂ける長津田総合法務事務所さんは、相談者様にとって本当に心強い存在であると思いました。



選択肢を示し、最良の決断を

時東 長津田総合法務事務所様のお名刺を拝見していますが、グループ会社として不動産会社に保険代理店も手がけられているのですね。

加納 開業当初から本当に様々な案件を受けてきました。その中でも特に多かったのが、当時テレビ番組の「ガイアの夜明け」で特集された影響もあってか、住宅ローンに関する相談だったのです。例えばローンの返済が滞り、最後の手段として物件の売却を余儀なくされるケースがあったとします。しかし、実際の売却に関しては宅建業の免許が必要であり、司法書士では扱いきれません。そこで、御依頼者の利便性の向上と迅速な事件解

決を図る目的で、2012年の2月に宅建業の免許を取得しました。

高橋 普通の不動産屋さんだと、お金をかけて宣伝活動を行い、物件を集めます。しかし、当所の場合は仕事の関係上、自然と物件が集まってきます。ならば一緒に手がけた方が早いかな、と。

時東 住宅ローンの問題は、この不況下ならばこれからますます増えてきそうですね。あまり公にできない相談でしょうし、対応も慎重にならざるを得ないかと思いますが…。

高橋 開き直ってこられる方や、精神的に疲弊している方など、御相談者の心持ちは様々。そして事情も様々です。

加納 一生に一度の買い物である住宅を手放すかもしれないとなると、御相談者

も難しい決断を迫られます。そんな時、我々は極力多くの選択肢をメリット・デメリットをきちんと説明した上で示すのです。そして、決して選択肢を押しつけたりはせず、御相談者には時間をかけ、お考えをまとめられた上でご判断頂くのです。もし厳しいご判断を頂く場合は、決意表明として一筆頂くこともありますよ。

常識を破る司法書士に

時東 心労が絶えない、とても大変なお仕事かと思えます。しかし、それでもお仕事を続けていかれている、そのベースにあるものは何なのでしょう。

高橋 我々は、業務に対して自信を持っています。司法書士事務所でありながら不動産会社と保険代理店を営んでいるからこそ、法律・不動産・保険という三位一体のサービスが提供できる。当所は神奈川県でもトップクラスの相談件数を誇っており、その経験値も自信の根拠になっていますね。

時東 例えば、住宅に関してはどんなトラブルが考えられるのでしょうか。

高橋 ローンの返済に関する話は別にしますと、しばしば発生するのが名義の問題ですね。購入の際に、住宅を誰の名義にするか、土地と建物の名義はどうか。これは後々に影響する重要な問題です。住宅を買うのはその場で無事にできたとしても、ローンの返済や相続、離婚などの問題がその後が生じた時、未計画

な共有状態では、その解消問題が泥沼化してしまうことがままあります。その点、法律家である我々ならば、そういったリスクについても先んじてお伝えしておくことができます。情報が頭に入っているといたないのでは、状況が大違いになりますからね。

時東 「住宅は人生で一番高い買い物」と言いますが、それだけに様々な状況を想定しなくてはならないということですね。

高橋 保険に関してもそうです。保険に加入する時、それが本当に有効な契約であるのかを法律家の目線で判断することができます。一例を出せば、自営業者が不測の事態に備えて貯金をしていたとします。しかし、自営業者は事業の関係上で返済中の債務を抱えていることが多く、いざという時に貯金が存在しても相続放棄をせざるを得ない。そうすると、残された家族を守る大切な貯金が無駄になってしまうんです。そんな状況を防ぐような保険のプランを提案することもできます。

加納 保険に関して言えば、我々が手けているのは事前の「法律健康診断」です。問題がない時に隠れた問題をあぶり出し、先手を打っておくために保険を提案します。当所が保険会社数社と代理店



▲ ホワイトボードを使った説明を受ける時東さん

契約を結んでいるのは、御相談者に最適な保険を提案したいと強く思ったからです。

我々は御相談者の法的リスク、経済的リスクを30年先まで予想した上で提案をしています。それも、我々がこれまでに多くの相談を受けてきた経験が成せる業なのです。

時東 ということは、今後は状況に応じてさらに手がけるジャンルが増えそうですね。今後の目標などがありましたら教えてください。

高橋 「常識を破る司法書士」であり続けることです。実際、司法書士でありながら不動産会社を営み、保険を手がけていることはあまりないでしょう。そのようなスタンスは、今後も突き詰めていきたいと考えています。

加納 規模を大きくしていくというのは難しいことだと思いますが、一人ひとりの相談者を全力でサポートすることが何より大切だと思います。



Company Data>>

暮らしの法律健康診断 相続・遺言・結婚前相談・離婚・成年後見・借金問題・住宅ローン問題・不動産の名義変更など

司法書士法人 **長津田総合法務事務所**

〒226-0027 神奈川県横浜市緑区長津田 5-1-13

TEL 045-988-0157 / FAX 045-988-0158

URL <http://nagatsuta-law.p-kit.com>

<http://nagatsuta-saimuseiri.com/>

<http://nagatsuta-souzoku.com/>

株式会社 ロイヤーズハウジング

TEL 045-507-5171 / FAX 045-507-5172

株式会社 ロイヤーズライフアシスト

TEL 045-511-8726 / FAX 045-988-0158